

8・30 大行動 国会10万人・全国100万人決起を！ 全国で一斉行動の具体化を

全国商工団体連合会

世論が追い込む。8月の戦いがカギ！

参院に舞台を移した安全保障関連法案の審議では、歯止めを欠いた法案の危うさが明らかに。安倍首相は、南シナ海での戦時の機雷掃海や、北朝鮮有事の際の、拉致被害者の安全確保まで持ち出す支離滅裂ぶりです。国会前をはじめ、各地の運動や働きかけが追い込んでいることに確信を持ちましょう。全商連も参加する「総がかり行動実行委員会」のよびかけに応え、8・30大行動は多彩な取り組みを地域でも計画しましょう。



7月30日、11回目の木曜日国会前行動には過去最高の2500人が詰めかけ、「戦争法案は廃案に」「安倍政権は退陣を」と国会を取り囲みました。全国で無数の集会が開かれ、政権にボディブローが効いてきています、

毎週木曜日の国会前行動は8月も実施予定。午後6時半～7時半・国会議員会館前にて。

「たたかいは今から」必ず廃案にと地域で行動 【福岡県】

「声を上げれば必ず廃案にできる」と各民商が決起し、先週は1200人を超える署名を積み上げました。北九州市では25日に戦争法案ストップ集会（実行委員会に八幡・八幡西の両民商が参加）を350人で成功させ、40人を超える会員が参加。八幡西民商は集会に先立ち賛同よびかけの団体訪問も行いました。

久留米市で行われた「戦争法案の廃案へ筑後地域でも意思表示を！」集会（26日）には360人が参加。大学教授や宗教者、青年、ママ代表など、多彩な参加者がリレートークしました。よびかけ人の久留米民商・坂本会長が閉会挨拶で「たたかいは今から。筑後から反対の行動を広げよう」とよびかけました。飯塚民商は毎週水曜日に街頭宣伝を定例化。足を止めて演説を聞き、多くの学生が「戦争には行きたくない」と署名しています。

「こりゃあええ、アンタも署名しんさい」と常連さんに 【岡山・津山】

25日、4人が宣伝署名に取り組みました。昔ながらの商店街は暑い中、人通り少なく、留守も多かったのですが、宣伝カーを回し、漫画チラシをポストインしながら汗を流しました。

新規開業者を訪問のときに読者になってくれたラーメン屋さんで食事をとり、署名を頼むと、店主は「こりゃあ、ええ事じゃ」と快く署名し、常連客に「アンタも戦争はいやじゃろう。署名しんさい」と声をかけてくれました。建設業で自民党支持だという会社の社長もいて、「署名まではできないが、戦争はよくない」とひとしきり話になりました。

「お任せ民主主義はダメ」と奮起 【山口県婦協】

19日に県婦協主催で憲法学習会を開き、35人が参加しました。県母親大会元実行委員長で元教師の福江博子さんを講師に「憲法は私たちの宝。国民を守り権力を縛るもの」というテーマでじっくり学習。「憲法は歴史の中で勝ち取ってきたことが良くわかった」、「安倍の地元と言われたくない!」「政権が狙っているものをしっかり見据え、お任せ民主主義ではだめ。できることをやっていこう」と話し合いました。

県内では「九条の会・講演会」「戦争展」「平和行進」など、他団体と共同の取り組みに積極的に参加しています。29日には県憲法共同センターや戦争させない1000人委員会が共同で、県内4カ所・一斉行動を計画中。8月9日には県弁護士会主催の「安保法制反対集会」を成功させようと奮闘しています。

税金の専門家「戦争法案の廃案を求める決議」 【税経新人会】

税金の専門家集団・税経新人会全国協議会理事会（理事長・戸谷隆夫税理士）は7月25日、「戦争法案の強行採決に抗議し、廃案を要求する」決議をあげました。政府・政党に届け要請を行うことにしています。

決議は反対の理由を「戦費調達には増税により賄われ、国民の暮らしを圧迫し、国家が国民に財政的奉仕を強要することを歴史は教えている」、「租税の専門家として、他の国で戦闘するための軍備の拡張のために租税を徴収することも、新たな税を課すことも断固として拒否するものである」などとしています。

